

科目名		ネットワーク組織論（Theories of Network Organizations）							
学 年	専 攻	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第2学年	経営情報工学専攻	学修	2 単位	選択	講義	後期 120 分/週	90 時間		
担 当 教 員		未定							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達目標レベル	グラフ理論の基本をはじめ、ネットワーク組織と系列との比較研究を行い、ネットワーク組織の定性分析を実施することができるとともに、企業組織の問題を定量化するグラフ理論とフリーマンモデルを説明できる。到達目標は①ネットワーク組織の概要を説明できる、②ネットワーク組織の計量分析をすることができる、③ネットワーク組織論を応用することができる。								
学習・教育目標	(C)②			JABEE基準1 (2)		(d)-(1)			
関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材									
関連科目	経営組織論								
教科書	プリント配布								
補助教材等	「Social Network Analysis」 S.Wasserman & K. Faust （Cambridge）								
達 成 度 評 価 （％）									
評価方法 指標と評価割合	中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40		20					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	○	○		○					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	◎	◎		○					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【創成能力】	○	○		○					
学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言									
暗記よりも、実際の事例学習を通じて、問題発見能力と問題解決能力を身につけるのを目的としているため、新聞の閲覧やテレビ番組の視聴を強くお勧めする。基本概念への徹底理解を目指しながら、企業経営に関する各種の理論をも体系的に理解することが求められる。さらに、グラフ理論等の数学モデルを用いて、組織の構造を測定する必要があるため、数学や統計学などの知識も必要である。									

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	基礎知識	・グラフ理論の基本概念を説明できる ・ネットワーク組織の概要を説明できる	社会の変化とネットワーク研究の必要性について (予習)組織エコロジーの研究について
2	組織研究	・組織エコロジー理論を説明できる ・制度学派理論を説明できる	(復習) 組織研究とネットワークについて (復習) 資源依存理論について
3		・資源依存理論を説明できる ・取引費用経済学を説明できる	(復習) 制度学派理論について (復習) ネットワーク組織論について
4		・ネットワーク組織論を説明できる ・ネットワーク組織論の意義を説明できる	(復習) 取引費用経済学について (復習) 中心状況について
5	セントラリティ	・連結度を説明、測定できる ・近接度を説明、測定できる ・間隔度を説明でき、測定できる	(復習) ネットワーク組織について (復習) 中心と周辺について
6		・ネットワークの中心と周辺を測定できる ・ネットワーク半径と直径を測定できる	(復習) 間隔度などについて (復習) 固有値について
7		・固有値を測定できる ・SNWもでるを説明、測定できる	(復習) 半径と直径について (復習) 密度について
8	密度分析	・密度を説明できる ・密度を測定できる	(復習) SNWについて (復習) バランスについて
9	バランス分析	・有限バランスを説明できる ・β を測定できる	(復習) 密度について (復習) 派閥について
10	派閥の問題	・派閥の定義を説明できる ・派閥を計算できる	(復習) バランスの β について (復習) DEMATELについて
11	影響力の測定	・DEMATELの概要を説明できる ・影響力を測定できる	(復習) 派閥について (復習) 容量について
12	ターミナルの容量	・容量の意味を説明できる ・容量を測定できる	(復習)影響力について (復習) エゴとエゴネットワークについて
13	有効規模と効率	・エゴの意味を説明できる ・有効規模を測定できる ・効率を測定できる	(復習)容量について (復習) 事例研究の重要性について
14	応用研究	トヨタやマツダの事例研究	(復習)効率について (復習) ネットワーク研究手法の全体の復習
15	まとめ	・答案返却・解答解説・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解する ・授業改善アンケートの実施	(復習) 全体の復習について (復習) ネットワーク研究手法のまとめについて
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			25 時間
自学自習			65 時間